

接着剤									
商品名 ベンリダイン		GTS		NTR(環境対応) MADE IN GERMANY		WPX		AR	
品番		BB-588	BB-558	BB-367	BB-368	BB-479	BB-480	BB-516	BB-517
容量		18kg缶	3kg缶	12kg缶	3kg缶	16kg缶	5kg缶	18kg缶	3kg缶
標準価格(税別)		12,000円	2,600円	10,500円	3,200円	8,900円	4,700円	7,200円	2,100円
参考施工可能面積	モルタル下地	220m <sup>2</sup>	36m <sup>2</sup>	240m <sup>2</sup>	60m <sup>2</sup>	35~40m <sup>2</sup> (藤タイル) 45m <sup>2</sup> (アンダーレイ)	11~12.5m <sup>2</sup> (藤タイル) 14m <sup>2</sup> (アンダーレイ)	55m <sup>2</sup>	9m <sup>2</sup>
主成分		アクリル樹脂系エマルジョン形 水性		アクリル樹脂系エマルジョン形 水性(EC-1取得)		ウレタン樹脂系溶剤形 火気厳禁		アクリル樹脂系エマルジョン形 水性	
適用下地		コンクリート・モルタル アンダーレイ・OAフロア		コンクリート・モルタル		コンクリート・モルタル		コンクリート・モルタル	
		JAIA F☆☆☆☆		JAIA F☆☆☆☆		JIS F☆☆☆☆		JIS F☆☆☆☆	
床材の種類	通常バックキング	○		○		—		—	
	のり付バックキング	○(接着補強)		×		—		—	
	ダストコントロール	○		×		—		—	
	藤タイル	×		×		○		×	
	アンダーレイ	×		×		○		○	

※アンダーレイ、OAフロア下地の場合は、ベンリダインGTSをご使用ください。 ※NTRはピールアップ型接着剤ではありません。

## カーペットタイル取扱上のご注意

### ■選択・施工上のご注意

- 下地から絶えず湿気の上昇がありえる場所では使用を避けてください。施工後に剥がれや臭気が発生するおそれがあります。
- サンプル帳や現品見本、写真見本と製品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- ライン柄の商品を市松貼りにする場合、デザイン上、コーナーのつき合わせがずれて見えます。
- 防汚マークは製品の防汚性を示す目安です。用途に応じた防汚性カーペットタイルをお選びください。また美観保持の為、日常メンテナンスを心がけてください。
- 歩行マークは歩行頻度に対する耐久性の目安です。用途に応じたカーペットタイルをお選びください。
- 梱包ケースに記載されている品名・色番・ロット・数量をご確認の上、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- 施工後しばらくは色ムラに見えることがあります。これはパイルの倒れ具合によるものであり、徐々に解消されます。
- 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気などをまねく場合があります。
- コンクリート系の下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分(水分率8%以上)があると、塩ビ樹脂に含まれる可塑剤が加水分解し、異臭(アルコール系)が発生する場合があります。施工前に必ず水分率を確認し、水分率が高い場合は充分乾燥させてください。
- 各商品の指定接着剤をご使用ください。
- 目地のパイルを挟まないようにご注意ください。目地隙や段差の原因となります。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- DT掲載商品は柄はつながりません。仕上がりは掲載写真でご確認ください。(グラフィカカーペットタイルは柄がつながります。)
- 市松貼り、流し貼りの選択は、各商品ごとの推奨施工方法をご参照ください。
- 推奨施工方法以外の貼り方で施工すると、目地の出方が不自然に目立つ場合があります。施工前に必ずご確認ください。
- 流し貼りで、柄の並びや目地の仕上がりに違和感がある場合は部分的に差替えてください。
- オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化物ガスの影響をうけやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
- 素材固有の臭いがあります。特に施工直後は換気を心掛けてください。
- カーペットタイルは繊維と塩ビの商品です。急激な温度変化は目地隙、突き上げの原因となりますので、室温になじませてから施工を開始し、施工中は急激な環境変化のないようにしてください。

### ■保管上のご注意

- カーペットタイルは梱包を解かず、平坦な場所に、ずらさずに保管してください。積み過ぎや雨水などによる水濡れを避けてください。変形・変色・変質・汚染・パイルの損傷の原因となります。

### ■使用上のご注意

- カーペットタイルの剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は即座に補修してください。放置しておくことで全体に影響が及び、美観を損なうほか、つまずいて転ぶ可能性があります。
- カットパイルは、使用中にパイルの方向が部分的に異なり、雲状の色むらのように見えることがあります。この現象はカットパイルの性質であり、品質の欠陥ではありません。
- ゴム製品や家具などの保護用ゴム材・塗料・防汚剤・殺虫剤などによって、カーペットタイルが汚染され変色をまねく恐れがあります。
- 家具の脚やハイヒールなどの突起物による局部荷重はへこみ跡やバックキング部分の損傷の原因となります。
- 長時間直射日光が当たる場所では、パイルが変色する可能性があります。カーテン、ブラインドなどで日よけてください。

### ■メンテナンスについて

- 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてからもとの位置に戻してください。
- 塩素系の洗剤や化学薬品を使用すると、パイルが変色する恐れがあります。
- 汚れがどうしても落ちない部分は新しいタイルと交換してください。

## ロールカーペット取扱上のご注意

### ■選択・施工上のご注意

- サンプル帳や現品見本、写真見本と製品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 濃色のカーペットはチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。
- 繊維製品は保管状態、配送状況の影響により、厚みやリピートなど表記と多少異なる場合があります。
- 下地から絶えず湿気の上昇がある場所では使用を避けてください。施工後に臭気が発生する恐れがあります。
- 梱包紙に記載されている品名、色番、ロット、数量をご確認していただき、サンプル帳の見本と照合の上、施工を開始してください。
- 同一床面上は同ロットで仕上げてください(生産巾が異なる商品をジョイントすると色違いになります)。
- フェルトグリッパー工法の場合はピン先をつぶしてください。けがの原因となります。
- 延伸工具で四方均等にテンションをかけて施工してください。延伸が不十分だと施工後にたわみが発生する可能性があります。
- ボーイング現象について  
カーペットは巾方向に若干の蛇行が見られます。製造中の中央部と端部への張力のかかり具合の差によって生じるもので、製法上の特性としてご理解ください。
- くも現象について  
カットパイルは使用中にパイルの方向が部分的に異なり、雲状のムラのように見える事があります。「くも」現象やシェーディング(日陰・明暗)と呼ばれるものであり、パイルが長く、濃い色合いのカーペットに起こりやすい現象です。これはカットパイルの性質であり、商品の欠陥ではありません。特にウールに代表される天然素材パイル商品はご注意ください。

### ■保管上のご注意

- 運搬途中で折らないでください。折りジワが残ったり、施工後の「伸び」の原因となる可能性があります。
- カーペットは梱包を解かず、平坦な場所に寝かせて保管し、上にものを積載しないでください。また雨水などによる水濡れを避けてください。変形、変質、変色、汚染、たわみやパイルのへたりなどの原因となります。

### ■使用上のご注意

- カーペットのたわみ、めくれ、ジョイントのほつれなどが生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくことで全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。特に階段でのたわみなどは、つまづきによる転倒事故に繋がりがやすく注意が必要です。
- パイルがほつれた場合、ほつれの伝線を防ぐ為にすくなくハサミでカットしてください。
- 長時間直射日光の当たる場所では、パイルが褐色を帯びたり、褪せる可能性があります。必ずカーテン、ブラインドなどで日よけてください。
- タフテッドカーペットに使用している合成ゴム(ラテックス)やジュート(麻)は臭いが発生させる事がありますが、数日間十分な換気を行うことで解消されます。
- パイル素材には固有の臭いがあります。特に新しく施工した際は臭いが発生しやすいので換気を心掛けてください。
- オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化物ガスの影響を受けやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
- 木床など滑りやすい床面に置き敷きする場合は、すべり止めシート(別売)、すべり止めテープ(別売)などをご利用ください。
- 巻き癖が残っている場合がありますが、時間の経過と共に解消します。
- 結露水はパイルを変色させたり、カビが発生させる原因となります。こまめに換気するなど、結露を防ぐ工夫をしてください。
- ゴム製品や家具などの保護用ゴム材、塗料、防汚剤、防虫剤などによって、カーペットが汚染されて変色をまねく恐れがあります。
- 家具の脚やハイヒールなどの突起物による局部荷重はへこみ跡の原因となります。

### ■メンテナンスについて

- 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてください。
- 塩素系の洗剤や化学薬品を使用すると、パイルが変色する恐れがあります。
- 汚れが付着したらできるだけ早く除去してください。時間が経過するほど、除去しにくくなります。